[illegible]

御威風御分ニ 御下ノ中ニ 巳磯御座ニ

大守様 [illegible] 御生産勝ニ

御成ニ 御下ノ 御意成御言ニ者

合敬 [illegible] 上国ノ [illegible] 思召ニ儀ニ

[illegible] 御ノ [illegible] 今日

ニ儀ニ 御事ハ 流ニ [illegible] 御宿用 [illegible]

[illegible] 退屈 [illegible] 御身ニ [illegible] 思召ニ

[illegible] 御思ニ [illegible] 御ノ [illegible] 御殿ニ

御下ノ中ニ 御下ノ [illegible] 御殿ニ

御下ノ [illegible] 御食事ニ

[illegible] 御ノ [illegible] 御ノ [illegible] 御ノ [illegible]

御言葉

太子様御前

御言葉

太子様御前

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

作ハ新垂細垂川親方ヘ賞ス民親方ヘ
中一合ニ恐懼謹ム

月日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

君德ヲ弼け治ル君ヲ愛し て吉祥ヲ成ス國
[illegible]
[illegible]
[illegible]

八巻法して孫に子に伝へ以て訣し

中山王 尚敬

正月 日

奥意に親書

序

蓋し聖王明君は刑憲を慎み法を設ふるものなり

帝舜は市朴を去て象に稽を勧め教を施し

後世刑法を設け法を立へしも其本為政の刑罰は敬の上に

加へ哀憐を主とし罪を犯す及ひ誤て犯すものい

其事大なりといへとも必ず宥めつとめ犯すこと

小なりといへとも必ず詳審して罪に

疑さい情まつ弱い幼の罪をは二重きを

忘りいたるか如く補成周は市代に三宝

赦の法を立られ或は徹を或は失せるの

或は老耄を宥めの或は幼弱の或は老耄

に或は春蛙を赦して一歩に罪

如く法は才と度に大宗を凡死罪を変ずる

豈恵を慎に思恵を慎に二百余の条を

先に法を立て自ら為流食し法を立て

先聖後哲兵世を清ませ事遠く

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

以へとも生を好み死を惡ふ人の人異事や
庶幾と合せるなり 誠に仁義の義乃
而を守りさの故に國邦代々に繁昌し
聖法を敬交さを以て德教を人類と
刑罰を和らげて止事を用て用ひ簡
簡易の道を以て万民洪德
沐浴風俗を和して
治安穩に治り
治る素より定り書る刑書の時に用
獄囚安定の例を遵守して治定
治へとも法を定る國規を立て毫釐
遠ふ事なく誤る事やの罪を及い

人と見意ふ事を憂さを以て仍て
編集を命せ中華代々の刑書及
國邦の例を撰ひ法を平易に
精と為
既に編集
解釋
彼照覽
宣御書
敬て施行
上意
聚罪
時に
法を設
死を免れ
の又生を
法を
大君
刑
為に設
法を
の
仁德

且刑罰は国家の治世に欠べからざる事なれ
ども是を恐れて喜ばしむる事なれば
是を道ひて民を教ふる時は死を恐れざるといへども
教ふるの根本は聖賢の道を修行する教
法を聊も恢弘し恥を知て惨刑を免れ
悔ひ改の補助となん事を希ふ

序

支那法書たるや其民をして聖賢の道を
学ばしめ国家の善を勧め悪刑を
禁じ法を制して聖賢生を好て死を惜ぶ
事やむ事なきを国家徳教の助ける
教ふる書なり又邪を抑へん為に設ける邪書
なり刑書なりて凡罪犯擬議の法
なる事甚だ多し本下安治の科律
編集を以て命ぜらるるに酒才乃身を
其任に堪へざるを如何ぞ
君命辞すべき事も憚り国酒を
日録法に書をすてひたすらに考ふる中
華代この刑書を大切にして生を
乃仁ふる事をいふ事いふもの時代
古法といひ今其宜きを其ふ法を代
施し行ふ事刑罪彼此を憚く見を見

[illegible]

[illegible]

富貴貧賤者人之天下法也[illegible]

[illegible]

[illegible]

厚者忠孝の道を志して初めつゝ冨を求福
の事一度は世に森商中の俗清潔中の志
遠く思い形又は清潔を希ひ

月日

清方未年清親父清地配分に濃厚の
境遇混雜者合雜混記出て企て中の
以て乱方を上に見抵日お知り兄遠理
の者お考り清て兄弟父母に逆倫人倫を
親繁地方に混乱に国神に情を
和漢政治に兄弟に志人倫を
の事無の事記て企て其世者

性世親父清海生清記義
森人記未日日雜機板家食未世日生和説
友見に祖親に若縁月出度家
不意日渉所清海年恨幸者家財
面系若記合地未濃面に弟地方に
云及日和に抑親に兄弟に
今に書掛天下に豆清に兄弟也易
田地と社聖賞に兄弟に
未に未お考に幼児に時お年父母に
日新嘗に坐一後居日と神に
に情見者清海いなれい

今度の儀、情意に入り、実説を以て、相談致し、諸事穏便に、
為致度、無之、

月日

[illegible]

霜月二日

尚氏時代、世替の秘法、[illegible]

月日

[illegible]

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

[illegible]

月日　　喜屋武親方

[illegible]

月日　　喜屋武親方

[illegible]

月日　　喜屋武親方

[illegible]

月日　　喜屋武親方

[illegible]

月日

[illegible]

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

[illegible]

十二月十日　　喜屋武親雲上

一米[illegible]

[illegible]

一港[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四月廿日　　喜屋武親雲上

潮平[illegible]

別紙仲筋[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八月廿四日　　喜屋武親雲上

沢[illegible]

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

御手輪[illegible]
[illegible]今日[illegible]酒[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

九月廿七日　　書院武親雲

鍛冶屋帝様

大和船来[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

六月廿日　　書院武親方

板國殿の親方へ

其後[illegible]

[illegible]

六月十三日　　書院武親方

武潟の親方へ

御仁父[illegible]

[illegible]

[illegible]

七月一日　　向平元

宜野座方

[illegible]

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library

[illegible]

十月廿日

[illegible]

一 [illegible]

右[illegible]

一 [illegible]

十月十二日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

板垣殿御親書之儀

非石非金元天地之精氣ニ交之その時之適
義有り風氣之流行一統之道之場
有り其間ニ入て行き及疑惑ハ
深き理少義理氣之始ハ
おくる玉理若後世ハあまり知ぬ
中ハ板垣殿の義理小補義の義
理ハ安倍殿の別理理ハ書伝之方
漢ハ一生涯を以之子孫万年

十月六日　吉田寅次郎

玉理之親書之儀

今日清子息之合戦ハ我小義親見世上
出張居る故帝親親ハ帝子骨肉一體
情意之為ハ今日御ハ死ハ外軟弱
ハ天理ハ天之如ハ古聖之
清生清彩東一面ハ兼日清変ハ
ハ合おハて天道ハ清ハ
農深志ハ

十二月九日　那覇

上玉天雄丈

覚

蘭子二代　楊子之二

Digital image © 2008 University of the Ryukyus Library